

【VIP限定】 Googleの終焉？ AIと人間

※最後に限定動画のプレゼントあり

こんにちは、てらけんです。

=====

受講生かつ

一定の開封率がある人だけに絞って
配信しているVIP限定メルマガです。

(一般読者には
届かないメルマガなので、

VIPでの内容は
あまり流失しないようお願いします)

=====

ほんと2023年も
あっという間な感じがしますね。

気づいたらもう2月も終わりそうです…。

今年は僕も実業にも手も出すし、

挑戦&挑戦という感じです。

なるべく後悔のないように
生きていきたいですね。

さて今日は、
世界を騒がしているトピックを
1つ取り上げてみたいと思います。

(ウイルスや災害ではなくて…)

それは、AIです。

AI、人工知能のことですね。

受講生から、

「今後自分の仕事が
AIに置き換わってしまうのではないか？」

「AIが完璧な画像,映像,文章を
作ってしまったら
まずいんだけど…」

「どうすれば新時代でも
生き抜いていけるのか？」

といったコメントを頂きました。

たしかに、不安ですよ。

AIはある意味脅威だし、
今後の発展は未知数です。

もうGoogle検索が不要になるのでは？
なんて囁かれていたりもします。

とくに最近だと、

イーロン・マスクや
マイクロソフトが出資する
「OpenAI」が発表した、

チャット型のAI
『ChatGPT』が
注目を集めています。

公開からわずか6日目にして

利用者が100万ユーザーを突破、

なんと2か月で
月間アクティブユーザー数
1億人を超えています。

この例は過去になくて、

同じ指標にInstagramのような
グローバルアプリで2年以上、

TikTokでも9か月かかっています。

そう考えると前代未聞の成長率で、
恐ろしいほどのスピードで
世界に浸透しているわけです…。

で、『ChatGPT』の出現に
焦ったGoogleは、

取り急ぎ『Bard』
というものを発表して
対抗している感じ。

つまり、

ChatGPTを発表した

OpenAI & マイクロソフト & (イーロンマスク)

vs

Google

みたいな構図になっており、

なんか巨大企業同士のバトルみたいで
個人的には胸熱な展開です(笑)

まあ、このAI市場を
制することができれば
世界がまた変わるかもしれませんからね。

実際、ChatGPTは凄くて、

まだ精度で微妙なところはあるものの、

質問したことに対して
秒での的確な答えが返ってきます。

例えば、

「太宰治の人間失格の感想文を書いてほしい」

なんてお願いしても、

パパッと一瞬で

ライティングされてしまうのです。

この精度は時間の問題だと思うので、
あと3年もすればほとんどの要求に
応えられるんじゃないかと思っています。

この状況に対し、
Googleは緊急事態を発動しています。

Googleのコアビジネスが
危機に陥った時にのみ発令される
「Code Red(赤信号)」を、

Google CEOの
スンダー・ピチャイさんが
発令したのです。

これまで、

「アフィリエイト目的で書いた記事が
Google様の気分で
検索上位から弾かれてしまうかも…」

とGoogleにビビることはあっても、

“Googleがビビること、

はほぼありませんでした。

でも、そのGoogleがビビっているのが
Chat GPT、ということです。

ChatGPTがGoogleをディスラプト、

つまり検索エンジンを
もはや時代遅れにさせてしまった場合、

世界の覇者がChatGPTになる
可能性すらあるのです。

さて、こんなワクワクと不安が
渦巻く世界の中で、
冒頭の質問に回答していこうと思います。

「今後自分の仕事が
AIに置き換わってしまうのではないか？」

「AIが完璧な画像,映像,文章を
作ってしまったら
まずいんだけど…」

「どうすれば新時代でも
生き抜いていけるのか？」

結論、これはもう
昔から言ってはいますが、

AIやロボットができない仕事を
していくしかないし、

むしろそれらを使う側に
立たないといけません。

あとはAIには踏襲できないもの、

例えば「人間の感情」
などをもっと使って
ビジネスをしていく...

という流れも
ますます強化されると思います。

AIには感情がありません。

でも、僕らには感情がある。

これも多分3年前くらいから言ったり
予言したりしていましたが、

「感情ライティング」や

「ストーリー」を使えることが
僕ら人間の強みの1つです。

今回のメルマガだってそうです。

僕の感情や想いが
少し介在していますよね？

逆にいうと、

今後AIが進化しまくった場合、

こういう部分でしか
差別化できなくなる予感もしています。

なので、

AIにはカバーできない領域を
カバーしていくしかないし、

むしろAIにライティングさせて
そこに感情やストーリーを乗っけて
オリジナルコンテンツとして世に出す、

なんてことが大事になってくるかなと。

また、文章はまだいいとして、
画像や動画なども
AIが完璧に創ってくる可能性があります。

現に今、自画像を送ると
即座にアニメーション画像に変換してくれる
サービスなんかもあります。

こういったものが当たり前になれば、
もはやデザイナーに依頼をする文化も
なくなっていくかもしれません。

だからこそ、

「感情ライティング」や
「ストーリー」を使って発信をし、

デザイナーの技術力だけでなく
ファンもつくっていく必要があるし、

ただのデザイナーではなく、
デザイナー×コピーライター
といった組み合わせによる
差別化も大事になってくるかと思います。

正直、僕としてはAIを使い倒してやろう、
という気持ちで満々です(笑)

そういう意味でも
今後はさらに
二極化してくると思います。

AIに使われる側なのか、
使う側なのか。

使う側でポジションを取れたら、
今まで以上にラクに
富を築ける気もしています。

あと、

ChatGPTが
Googleをディスラプトできるのか？

という点についてですが、

個人的な見解としては「NO」です。

なんだかんだで
僕らの「検索行動」は
ここ20年でほぼ変化していません。

みんな検索窓に文字を入力して、

Enterを押して、

表示される情報を見ている。

Instagramが流行してきてからは

「ググる」ではなく

「タグる」人もだいぶ増えました。

というか、Googleよりも

部分的にいいサービスは

これまでもあったのです。

例えばSiriやアレクサだって

革命的に便利なはずですが、

結局、天気を聞いたり

音楽を再生したり以外で

使っている人はあまりいません。

もちろん中には

「Google検索ではなくChatGPTに聞こう」

といったキーワードも出てくるでしょう。

でも多分、Google検索と
ChatGPTを使い分けられる人は
世の中に1%程度しかいないと思います。

一部の人の使用だけでは、
ディスプレイレベルの
ムーブメントにはならないと考えています。

また、Googleは検索を通して
強大なトラフィック(アクセス)があり、

だから企業もそこに広告を出しまくるわけですが、

ChatGPTはそれがあまり実現できなそうです。

なので、

企業として積極的に活用していくのも
難しいのかな～
なんて思ったりもしています。

あと今後、

先に予言をしておくと、

ChatGPTなどを使って
大流のコンテンツを作り出す人が
出てくるはずですよ。

ようは、

人間が到達できないコンテンツ量を
短期間で生み出し、
Googleの検索をジャックしよう...

なんて考えてくる。

フェイクニュースや
誤った医療情報などが
問題視されて以来、

Googleは低品質コンテンツに
ずっと対抗し続けてきました。

なのでほぼ確実に
Googleはますます厳しい目を
向けると思います。

つまり、

誰が発信している情報なのか？
コンテンツの中身はあるか？
信頼性や権威性は？

などなど、あらゆる指標で
評価されるでしょう。

だから、

ChatGPTがGoogleをディスラプトできるのか？

という点については現時点ではNOですが、

ChatGPTなどのAIが生み出す

無数のコンテンツで溢れ返るようになったら、

僕らの戦い方も変えなきゃいけないなと思っています。

やっぱり、

読者である「人間」が

興味を持って読んでくれる

面白い記事・コンテンツを作っていく必要がある。

感情ライティング、

経験ライティングが大事です。

僕のブログ記事も

あとで読み返してほしいのですが、

こういうAI時代に備えて、

AIが踏襲できないような

コンテンツばかりを

出してきました。

「経験」を強く介在させているので、
もはや人間ですらコピーするのが難しいです。

ただ、AIが人間には作れないような
コンテンツを生み出せるようになれば、
また話も変わります。

例えば、

「インスタアカ4500万件を解析した結果、
伸びるアカの特徴が45個分りました」

みたいなコンテンツが出てきたら
僕らは絶対に勝てません(笑)

他にも、

「古事記の全文をフルインプットした上で
他の文学作品との違いを
10万文字で考察してみる」

とか。

そういうコンテンツは
検索エンジンからも
評価されるでしょうね。

いずれにせよ
AIと共生する世の中になる中で、

AIに使われる側から使う側になったり、

AIに代替できない
独自の感情・経験コンテンツを作ったり、

AIを大量生成の手段ではなく
人間にはできないことを
実現するための手段として
活用していくのが大事になりそうです。

僕としては、

ChatGPTや
今後台頭してくるであろう
新文章AIに備えて、

的確に操れるように
改めてコピーライティングの勉強を
し始めています。

正直、テクノロジーが進化しすぎて
先を予測するのも

難しい世の中になってきました。

加えて、コロナウイルスや大災害など、
予定調和を崩すようなことも
たびたび起きます。

僕の予測も当たることもあれば
外れることもあるでしょう。

もしかしたら5年後、
ChatGPTどころかもっとすごいAIが現れ、
Googleを破壊する可能性だってあります。

というかAIがAIを生むことも考えられます。

でも僕らのビジネスで相手にするのは人間です。

人間→人間なのです。

ビジネスの本質は
ターゲットの人間に対する
価値提供・課題解決であるということ。

その手段として
AIを活用したりするのが
いいかなと思います。

そして、未来のことは誰にも分からないけど
今この瞬間だけは確かなので、

ある程度未来の予測はしつつ
流れも読み取りつつ、

今できることを
コツコツと
やっていくしかないですね。

僕も原点にかえって
コツコツやっついていこうと思っています。

事業の数も増えてきました。

インターネットビジネスの向こう側に行ってみます。

p.s

今回のような話だったり、
質問への回答を
1つの限定動画にまとめました。

全部で27個、回答しています。

こちらも限定で配布しますので、
お時間がある時に
ぜひ試聴してみてください。

→<https://youtu.be/oCWyyRGkb6U>

限定メルマガ・限定動画への
感想もお待ちしております。

ではでは！

—【発行者情報】—てらけん公式メールマガジン—

[運営会社]：株式会社Liberty

[公式ブログ]：<https://f-lifelog.com/>

[公式Twitter]：<https://twitter.com/teraken01>

[公式Instagram]：<https://www.instagram.com/teraken01/>

[公式YouTube]：<https://www.youtube.com/channel/>

[UCuF2Vx5a7nMra3VhXUKhVcg](https://www.youtube.com/channel/UCuF2Vx5a7nMra3VhXUKhVcg)

[運営会社情報]：<https://f-lifelog.com/k>

[メールアドレスの変更]：%change_mail_url%

[購読解除]：%cancelurl%

※一旦解除すると再登録できません。

解除の際はお間違えのないようにお気をつけください。
